

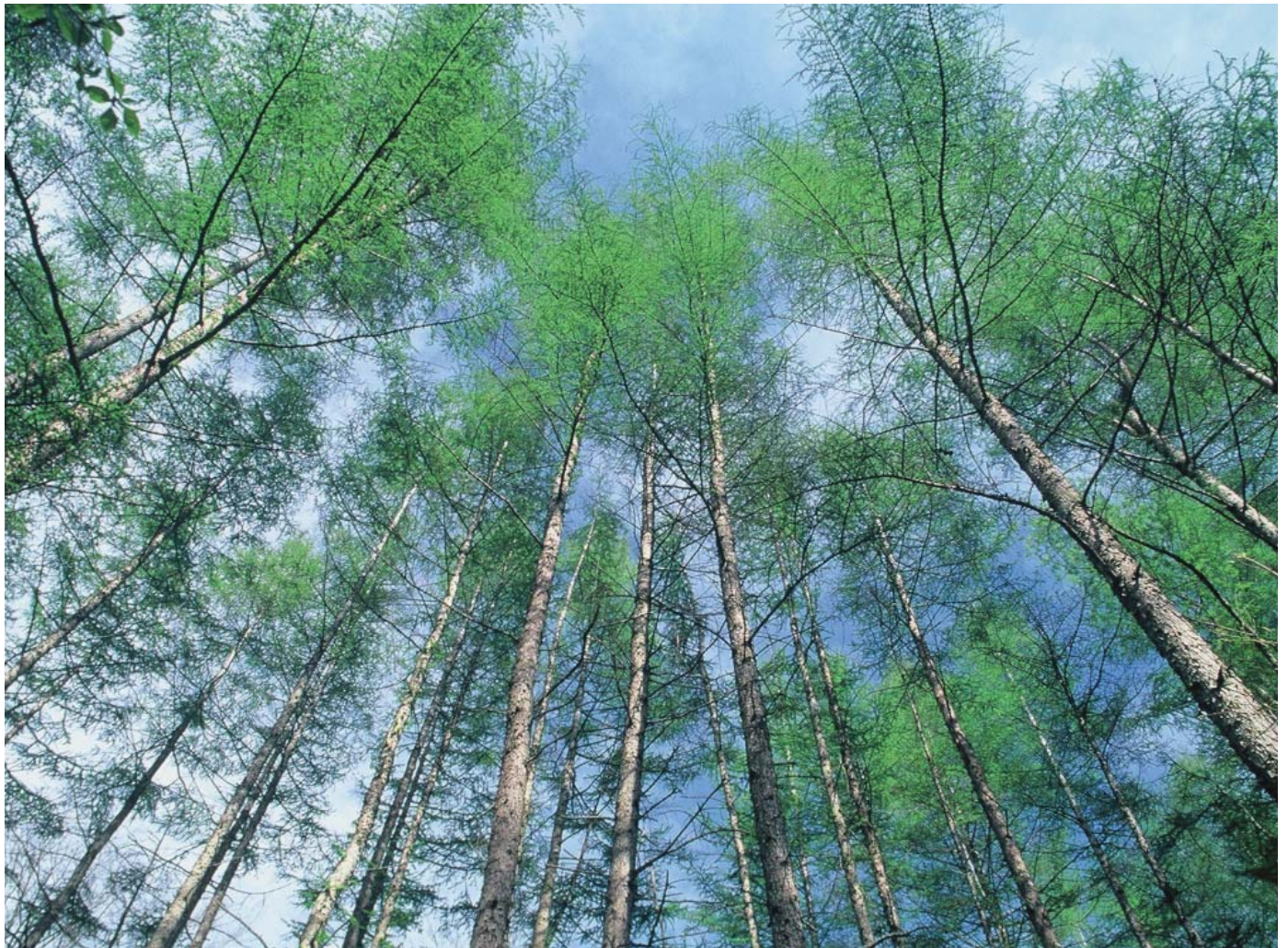


# ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出会いや発見がきっとある



## 目次

- |                          |   |                        |   |
|--------------------------|---|------------------------|---|
| ●平成21年度第1回理事会・評議員会 …………… | 2 | ●「ほっかいどう学検定」について …………… | 4 |
| ●道民カレッジのお知らせ ……………       | 3 | ●視聴覚センターからのお知らせ ……………  | 5 |
| ●「ほっかいどう学」出前講座について …………… | 4 | ●・随想9 ……………            | 6 |

平成二十一年度第一回理事会・評議員会開催

五月二十九日、平成二十一年度の第一回理事会・評議員会が開催され宇田川会長の挨拶に続き議事に入り、「平成二十年度事業報告」及び「平成二十年度収支決算、監査報告」が提案され原案どおり承認されました。

また、推薦団体の人事異動等により就任した理事・評議員の補充について、それぞれ評議員会・理事会で次のとおり選任されました。

議 事

- ・議案第一号 平成二十年度事業報告
- ・議案第二号 平成二十年度収支決算、監査報告
- ・議案第三号 理事、評議員の補充選任

新 役 員

・理事

- 楠 本 淳 二 (株)北洋銀行 人事部審議役
- 畑 宏 明 (財)北海道埋蔵文化財センター 常務理事

・評議員

- 江 本 嘉 敏 (北海道高等学校歴史教育研究会 顧問)
- 板 東 知 文 (北海道都市教育委員会連絡協議会)
- 矢 代 浩 子 (社)ガールスカウト日本連盟北海道支部副支部長



平成20年度収支計算書総括表

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単価：円)

科 目	一 般 会 計	道立生涯学習推進センター事業受託特別会計	北海道体育指導委員協議会事業受託特別会計	北海道教育関係公益法人協会事業受託特別会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
① 基本財産運用収入	122,224					122,224
② 事業収入	1,518,200					1,518,200
③ 受託事業収入	0	49,031,000	950,000	1,514,000		51,495,000
④ 会費収入	1,647,000					1,647,000
⑤ 補助金収入	8,267,000					8,267,000
⑥ 寄付金収入	300,000					300,000
⑦ 雑収入	669,584					669,584
⑧ 繰入金収入	1,360,000				△ 1,360,000	0
事業活動収入計 (A)	13,884,008	49,031,000	950,000	1,514,000	△ 1,360,000	64,019,008
2 事業活動支出						
① 管理費	2,766,815					2,766,815
② 事業費	10,437,433					10,437,433
③ 受託事業費支出		47,397,488	930,508	1,388,716	△ 1,360,000	48,356,712
④ 繰入金支出						0
⑤ 補助金(委託費)返納支出		1,633,512	19,492	125,284		1,778,288
事業活動支出計 (B)	13,204,248	49,031,000	950,000	1,514,000	△ 1,360,000	63,339,248
事業活動収支差額 (A) - (B)	679,760	0	0	0	0	679,760
II 投資活動収支の部	0	0	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	679,760	0	0	0	0	679,760
前期繰越収支差額	3,773,753	0	0	0	0	3,773,753
次期繰越収支差額	4,453,513	0	0	0	0	4,453,513

愛称「マナボー」



道民カレッジ  
ロゴマーク

『学びから夢が生まれる』  
道民カレッジのお知らせ

道民カレッジ  
事業について

道民カレッジは、北海道を一つのキャンパスに、道内各市町村や大学等の高等教育機関、各種団体や民間教育事業者等が行う講座等を体系化し、ネットワークを固りながら様々な学習機会を提供し、道民が自らの意思によって、いつでも、どこでも、希望の講座を選び、学ぶことができるようにした「生涯学習の学園」です。

ぜひ、道民カレッジに入学し、多くの仲間と学習をとおして交流を深めてみませんか。

◎平成二十年度「道民カレッジ」の実施状況 (三月三十一日現在)

◇学生数 二二、七二二名

(男) 九、八九三名  
(女) 一二、八二八名

◇称号取得者数

・学士(一〇〇単位) 三一九名  
・修士(二〇〇単位) 二〇二名  
・博士(三〇〇単位) 一四六名  
・学長奨励賞(二千単位) 二五名  
(二千単位) 二名

◇連携講座数

・ほっかいどう学コース  
一一七団体 二七〇講座

- ・能力開発コース 一〇三団体 三三三講座
- ・環境生活コース 二〇五団体 五一六講座
- ・健康スポーツコース 一五四団体 三三二講座
- ・教養コース 二〇六団体 六四六講座
- ・合計 七八五団体 二、一一七講座

◎平成二十一年度「ほっかいどう学」大学放送講座

☆道内の八大学が参加します。

◇十月からHBC放送予定です。

・放送時間は未定

◇再放送(十月中旬以降放送予定)

・放送時間は未定

◇ブロードバンドでの番組配信予定

◎「大学放送講座」テキストを販売

(八月下旬販売予定)

◇一冊 一、〇〇〇円(送料一〇五円)

・購入いただき、三十分間のテレビ視聴と併せて、レポートを提出するときの参考にしてください。

◇一レポート提出につき、必修単位が一単位認定されます。

・郵送される方は、八十円切手を貼付した封筒を同封してください。



平成二十一年度 大学放送講座内容  
第一回 北海道医療大学

「鹿追町における健康施策とその結果」

健康度アップ・医療費ダウン  
看護福祉学部教授 西 基

第二回 北海道教育大学函館校

「蠣崎波響『夷酋列像』の背景」

絵画の記憶  
日本語・日本文化教授 小栗 祐美

第三回 北海道大学

「北海道らしい健康運動」

新しいウォーキングを考える  
高等教育機能開発総合センター  
教授 川初 清典

第四回 東京農業大学

「北海道と温暖化」

サロマ湖の水質へのインパクト  
生物産業学部教授 塩本 明弘

第五回 旭川大学

「ヘルスプロモーションの可能性と課題」

「コミュニティ福祉の実現をめざして」  
保健福祉学部助教 松浦 智和

第六回 北海学園大学

「グローバル時代の北海道経済を展望」

可能性の探究と課題の克服  
経営学部教授 菅原 秀幸

第七回 北翔大学

「北海道における心理臨床と福祉」

人々の生活を支える視点から  
人間福祉学部教授 稲田 尚史  
人間福祉学研究科教授 村瀬嘉代子

第八回 北海道情報大学

「さつぽろバイオクラスター構想」

健康食品開発システムの構築  
経営情報学部教授 西平 順

平成二十一年度

『ネットワーク推進事業』

「ほっかいどう学」実践講座

◇道央圏

○第一回目

日時 八月二日(日)

会場 札幌市かでる2・7

講師 未定

○第二回目

日時 十月三日(土)

会場 札幌市かでる2・7

講師 合田一道氏他

◇オホーツク圏

日時 九月六日(日) 十時

会場 北見市芸術文化ホール

講師 合田一道氏・小川巖氏

◇根釧圏

日時 八月二十三日(日) 十時

会場 釧路市生涯学習センター

講師 合田一道氏・小川巖氏

◇道北圏

日時 九月二十七日(日) 十時

会場 旭川大学女子短期大学

講師 江本嘉敏氏・小川巖氏

◇道南圏

日時 八月三十日(日) 十時

会場 函館市「サン・リフレ」

講師 江本嘉敏氏・小川巖氏

◇十勝圏

日時 九月十三日(日) 十時

会場 北海道新聞社帯広支社

講師 合田一道氏・小川巖氏

◆申込みは、(財)北海道生涯学習協会学習振興課  
TEL 〇一一―二三一―四一一  
(内線三六―三四三)  
◆検定公式問題集「自然環境編」持参

平成21年度 道民カレッジ「ほっかいどう学」出前講座開催予定 市町村一覧

圏域	No.	市町村	テーマ（地域課題）	実施予定期日
道央圏	1	月形町	「月形まちづくり塾」 ～まちづくりに必要なコミュニケーションとは～	平成21年9月
	2	奈井江町	「健康と教育と大学の連携によるまちづくり」	平成22年2月2日
道南圏	3	せたな町	「ふるさと学習」	平成21年6月9日
	4	伊達市	「世界遺産候補、北海道、北東北を中心とした縄文遺跡群」を学ぶ	平成21年8月29日
	5	鹿部町	「温泉活用のまちづくり」	平成22年2月
道北圏	6	羽幌町	「シニア世代の地域づくり」	平成21年10月6日
	7	中頓別町	「食と健康」	平成21年12月
十勝圏	8	幕別町	「森林浴の体験と森林学習」	平成21年9月26日
	9	音更町	「介護の未来を考える」	平成21年11月11日
根釧圏	10	根室市	「ねむろの自然の魅力を再発見」	平成21年10月
	11	釧路町	「地場産品を使った地域おこし」	平成21年11月
オホーツク圏	12	網走市	「ボランティアに役立つカラーコーディネート」	平成21年9月10日 11日

「ほっかいどう学」出前講座

希望市町村や団体の要望に基づき、まちづくりの実践的な知識・ノウハウを持った講師を地域に派遣し、地域課題の解決に向けた参加型学習プログラムによる地域づくり実践講座です。  
今年度の予定は左記によります。

受検者募集中！

～学んで生かそう北の未来～

「ほっかいどう学検定」

ほっかいどう学検定は、北海道をよく知ることを北海道づくりの基本とし、北海道を理解し、北海道を愛し、北海道の創造的発展の主体となる道民を育てることを目的とし実施するもので、昨年に引き続き二回目の開催となります。  
昨年は、全道で一、五四七人が合格を目指して挑戦しました。

◇検定実施日

平成二十一年十一月一日（日）

・午前十時三十分

・午後二時

◇検定会場

札幌会場《北海道大学》

旭川会場《旭川医科大学》

函館会場《函館大学》

帯広会場《とちちプラザ》

釧路会場《北海道教育大学釧路校》

◇出題領域

「北海道の歴史・文化」

「北海道の自然環境」

◇検定の種類と検定料

・入門検定（基礎知識編）

五〇問（六〇分）

一般 二、五〇〇円

大学生 二、〇〇〇円

高校生以下 一、〇〇〇円

・上級検定（応用編）

一〇〇問（九〇分）

一般 三、〇〇〇円

◇対象

大学生 二、五〇〇円  
高校生以下 一、〇〇〇円

北海道に興味関心のある道民及び全国の人々

◇合格証書

授与者は、道民カレッジ学長（北海道知事）です。

◇申込み

平成二十一年七月一日（水）～  
九月三十日（水）

◇公式問題集

・「ほっかいどう学検定公式問題集 歴史・文化編」

定価 一、〇〇〇円

・「ほっかいどう学検定公式問題集 自然環境編」

定価 一、〇〇〇円

・問題集の取扱店等

北海道新聞販売所、道内の書店、検定事務局

◇事前講習会

札幌会場（北海道大学）

九月六日（日）

一、五〇〇円

◇問い合わせ先

受講料

ほっかいどう学検定推進機構事務局

〒〇〇六—〇〇〇二

札幌市中央区北二条西七丁目

電話 〇一一—二二二—四一一

（内線三六—三四三・三七〇）

Eメール college@hsgk.jp

ホームページアドレス

http://www.hsgk.jp/kenet/index.html

## 視聴覚センターからのお知らせ

視聴覚センターでは、収録する視聴覚教材（ビデオ、DVD、十六mmフィルム）を無料で全道の皆様にお貸ししています。  
 ここでは、平成二十年度に整備した教材からご紹介いたします。

### 『星の王子さま』

(DVD 三十分)

不朽の名作『星の王子さま』を完全映像化。世界百六十カ国で翻訳出版されているファンタジーの名作。

### 『昭和二十年』「復興への道」

(DVD 五九分)

GHQがフルカラーで撮影した敗戦直後の日本各地の様子。戦後日本の出発点を記録した貴重な映像資料。

### 『地球と環境Ⅱ』

「地球温暖化 オゾン層の破壊」

(DVD 一九分)

地球温暖化とオゾン層の破壊が人類に及ぼす影響とその対策も含めて解説。

### 『ホームタウン』

「朴英美（パク・ヨミン）のまち」

(DVD 五四分)

本名を名乗り前向きに生きる在日韓国人三世の姿を通じて、国籍の違いや偏狭なナショナリズムを超え、全ての人が尊重される社会を考える。

### 『障害のある人とのふれあいと人権』

(DVD 三三分)

健常者と障がい者の助け合いを實現するために、町で障がいを持つ人と出会った時、どのように行動したらよいか、実際の場面を見ながら考えます。

### 『パワーハラスメント』

「そのときあなたは…」

(DVD 二八分)

実態から学ぶパワーハラスメントの姿。インタビュー「ハラスメントを受け、人間としての弱さに絶望しました」、ドラマ「僕の口から、課長、いい加減にしてください」とはいえませんが」を収録。

### 『解雇された女性PART2』

「セクシャル・ハラスメント」

(DVD 三三分)

セクシャル・ハラスメントを拒否したことで職場を解雇となった女性労働者の事例から、現代の労働環境の姿を探る。

### ※らくらくWEBで申し込み

視聴覚センターの教材は、WEBから借用の申し込みをし、宅配便で受け取ることができます。  
 詳しくは左のアドレスにアクセスを  
<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>  
 お問い合わせ.....

電話 〇一一―二二―四一一

(三六一―三四五)

FAX 〇一一―二八―六六四

## 「まなびの広場」展の紹介

情報交流広場（まなびの広場）では、一年間を通じて計画的に道内の生涯学習関係団体や道内各市町村の活動紹介及び展示等の発表の場を提供しています。  
 皆さんの「まち」や「団体」も応募してみませんか。  
 六月以降の展示計画についてご紹介いたします。

六月 ・アートスタジオBENIO

「連鶴&季節の折形」

・おはなしなあに

「お話の世界をたのしむ」

七月

・三笠北海盆踊り実行委員会

「第八回三笠北海盆おどり」

・新冠町教育委員会社会教育

「レコード館がやってくる」

八月

・札幌切り絵の会

「第七回北海道切り絵作品展」

・曙彩会水彩画

「曙彩会水彩画五人展」

九月

・道民カレッジ「大学放送講座実行委員会」

「平成二十一年度大学放送講座展」

・座展

十月

・現代押し花アート

「押し花でつづる四季」

十一月・国立日高青少年の家

「国立日高青少年自然の家紹介パネル展」

十一月・かでの2・7

「かでの2・7書と絵手紙サークル展」

十二月・スクラップブックを楽

しむ会

「思い出を手作りアルバムでより鮮やかに残しましょう」

・北海道教育庁生涯学習

推進局生涯学習課

「家庭教育推進月間」

一月

・ULAビーズ工房

「ときめき織」

「ときめきビーズ織」

二月

・国立大雪青少年交流の家

「ゆーすぴあってナンだ？」

三月

・フォートさつぽろ「花の会」

「花を中心とした写真展」



# 随想⑨ 亡憂君の独り言

だいぶ前のことであるが、ラジオの放送で「こいや利兵衛」なる江戸時代の実在の人物のことが語られていた。利兵衛は、一晚に一人で日本酒を一斗九升五合呑んだという。およそ二斗つまり二〇升近く（一升瓶で二〇本）である。そのまま計算すると血中アルコール濃度は一・二%となり、明らかに死んでしまうという。ふつうの身体では5%で死に至ると言われている。しかも江戸時代の酒は今よりも度数が高かったともいう。では、彼はどのようにして濃度を低くして呑んでいたのだろうか。

その解決法は水割りで呑むしかないと思われる。血中アルコール濃度を常時4%ほどに抑えて呑むには、呑む酒の80%を水で割って呑むしかない。酒を含めた水分量は一升瓶で一〇〇本近くとなる。一晚でその量の水分を身体に入れるということはふつうの人間にとつては並大抵のことではないはず。おそらく厠に通い詰めであったろう。

この利兵衛について調べようとしたが、残念ながら追及できていない。そんな中で「播磨国天領他天明七年加古川流域酒屋騒動」に出合った。兵庫県の話。天明七年

（一七八七）、加古川流域の天領ほかの酒造家のある村々の庄屋などを相手に口上書をぶつけたという。その内容は、当時凶作続きで酒造制限令が出されたが、酒造家はそれを守らず、米価が高値になり農民や町民が飢餓に瀕し、隠し酒造と酒樽の積み下ろしの禁止を要求したものである。その酒造家の中に、依田村の利兵衛が入っている。

このような大酒呑みのことを「亡憂君」と呼んだのは、中国の東晋時代（二六五〜四二〇年）の詩人で天性酒好きだった陶淵明である。酒の事を「亡憂物（ぼうゆうぶつ）」と呼び、酒を称える歌を書き散らしたそうである。例えば「百年三萬六千日 一日須傾三百盃」。百年は三萬六千日、一日に三百杯を傾げるべし、の意味か。やはり大酒呑みの白楽天の詩がある。「帰りに来る五柳（陶淵明の別名）の下、また酒を以て真を養う」。「酒を以て真を養う」とはすばらしい言葉である。

酒を素材に、調べる生涯学習をしてみた次第であるが、亡憂君の独り言として笑い飛ばしてくださいと幸いである。

（財）北海道生涯学習協会

会長 宇田川 洋

# 人の動き

転入 四月一日付

総務課長

菊池 利一

（札幌南陵高校事務長から）

主幹

辻 覚（総務課長から）

まなびの広場スタッフ

今野 真司

（日高町立厚賀中校長から）

退職 三月三十一日付

主幹

山下 孝将

相談員

川原 征一

## 新会員紹介

次の方々が新たに賛助会員になりました。

今後ともよろしくお願いたします。

・個人会員

巻淵 雄二（札幌市）

松尾 裕（札幌市）

片山 智晴（札幌市）

菊池 利一（札幌市）

柴垣 修身（札幌市）

高村 満（札幌市）

長谷川俊次（札幌市）

宮内 敏文（札幌市）

中澤 幸美（札幌市）

武田 和弘（札幌市）

豊島 尚史（札幌市）

山谷 信一（札幌市）

## 事務局からお願い

・会員の皆様で住所が変わられた方は、事務局までお知らせください。  
・本年度の事業が始まりました。誠に恐縮に存じますが会費未納の方は、納入についてよろしくお願いたします。

山田 寿雄（札幌市）  
前田 博（札幌市）  
末永 修也（札幌市）

## 編集後記

昨年度、実施した「ほっかいどう学検定」の合格者を対象にした「合格者の集い」は、去る二月二十八日（土）、「かでるホール」を会場にして実施されました。講師の方々より講演・講義がされた後、検定事務局より継続的に生涯学習に取り組みことをねらいとした「ほっかいどう学を学ぶ会」の設立を提案したところ、満場一致の賛同を得、設立されました。

当日、この集いに参加した方々の多くがこの「学ぶ会」の趣旨に賛同し参加登録を済ませましたが、後日続々と参加の申し込みがあり、五月末までに実に三十一人の申込みがあり、生涯学習に取り組む熱心が伝わってきたと同時に事務局としてもこの会の運営に積極的に支援する責任の重大さを感じているところです。